

北九州市立千防保育所 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令7年10月3日（金） 13:00～14:20
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎11階 112会議室
- 3 出席者 検討会構成員：阿南構成員、大久保構成員、河崎構成員、
小竹構成員 （五十音順）
事務局：子ども家庭局運営給付担当課長、給付担当係長、
担当職員
- 4 応募団体 社会福祉法人 北九州市保育事業協会

5 会議内容

○検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明

○構成員の互選により、座長を選出

○応募団体より提案概要の説明及び応募団体へのヒアリング

■構成員によるヒアリング

（構成員） 地域行事や地域の団体との連携について、忙しい中、しっかりと取り組まれているようだが、園長として今後の思いを聞かせてほしい。

（応募団体） 地域を大事にしたいというのは、職員間で共通の認識をもっている。複合施設であり、下の階に障害者施設があり、隣に高齢者施設があるのでよく行き来している。今年度は、警察、高齢者施設、保育所の三者で初めて交流がもてた。年長者の方の笑顔が園児にも伝わり、とても良い経験が出来ている。交流行事は年長児が中心となっているが、今後は4歳児にもつなげていきたい。

（構成員） 研修に対する取組について2点聞きたい。

① 法人として6園運営しているが、保育の質を向上させるために、他の園と情報共有や合同研修などの取組があるか。

② 特色として保育ドキュメンテーションに取り組んでいるということだが、その効果をどうとらえているか。

（応募団体） ①については、各園から副主任などの中堅保育士が集まって、法人の合同研修が開催されていたが、今年度は、基本に戻って各園で取り組み、来年度は、保育所間交流を計画している。また、法人内で調理員間の交流もあり、調理の形態や食事の提供方法の工夫等の

情報共有を行っている。

②については、取組自体が大変であるが、繰り返しやっていくことで、保育士の写真の撮り方や伝え方が上達してきた。保護者にとっては、保育の状況が可視化されることで、保育士の思いが伝わったり、我が子の育ちに気づいたりなどの効果が生まれている。

(構成員) ホームページを見て、給食に力を入れていると感じた。給食に関する取組についてお聞きしたい。

(応募団体) 食べることは生きることなので、食を大事にしたいという思いがある。今年度、ホームページのリニューアルを行い、食育について献立の配信など、情報を充実させた。

(構成員) 保育士の定着のための取組についてお尋ねしたい。

(応募団体) 先生たちが笑顔でないと定着は難しい。先生たちが笑顔になるには、仕事も休憩時間も楽しく過ごせること、不満については園長と主任で受け止めている。また、業務を改善して不要な事務作業を減らしたり、有休をしっかりと取得してもらったりなどの働きかけを行っている。

(構成員) 対応の難しいお子さんもいると思うが、相談事例や保護者から相談を受けて専門機関へとつないでいく具体的な事例があれば、お聞きしたい。

(応募団体) 保護者へは、少しずつ気になる部分を伝えていく。また、ビデオを活用して、保護者に普段の姿、集団の中での気になる姿を見てもらって、納得してから、専門機関につなぐようにしている。

(構成員) 法人で6園運営しているが、法人内での異動はあるか。

(応募団体) 多少の異動はあるが、保育士数が不足していることもあり、あまり積極的には出来ていない。保育の質を標準化させるためにも、人材確保が進めば、もう少し保育所間の異動を増やしたいとは考えている。

(構成員) 保育士確保の取組として、LINEによる情報発信をしているとのことだが、発信の頻度や効果のほどはどうか。

(応募団体) 今の若い方は直接電話をするのが苦手で、LINEなどの携帯の方が気軽にアクセスできるメリットがある。法人の担当者が、採用試験の情報などを毎月1回程度発信することで、問い合わせがあったり、試験を受けに来てくれたりしている。

○構成員は、応募団体からの提案概要のプレゼンテーション及び質疑応答を受けて各自得点を記入し、事務局が集計した得点を発表。その後、意見交換及び検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議を行い、検討会を終了した。

■総合的な所見内容

・法人としては、十分な保育所運営の実績を有しており、財政基盤がしっかりし

ていると評価できる。

- ・ 6つの保育所を運営している法人のスケールメリットを活かし、園を超えた保育士間の交流や合同研修などが行われ、資質向上を図っている。
- ・ これまでの経験を活かして、社会状況の変化と利用者のニーズに応じた対応に努めており、地域に根差した保育を実践している。
- ・ 複合施設である利点を活かし、周辺の公共施設との連携を図っており、高く評価できる。
- ・ 保育ドキュメンテーションに取り組むなど、最近の保育動向にもしっかり対応し、保護者にわかりやすい情報提供に努めている。